

令和元年度 学校自己評価表

栃木県立大田原高等学校

教育方針	栃木県の教育施策に基づき、本校校訓「質素堅実」のもとに、生徒及び地域社会の実態に即した教育目標を次のように定め、知・徳・体の調和のとれた育成に努める。
教育目標	(1) 真剣に学習に取り組み、豊かな創造力と正しい判断力を養う。 (2) 心身を鍛錬し、不屈の精神とたくましい実践力を養う。 (3) 自他を敬愛し、感謝の心と奉仕の態度を養う。 (4) 規律と責任を重んじ、協同・連帯の精神を養う。
本年度の努力点	(1) 「質素堅実」の具現化 (2) 「大高教育力」の充実 ・学習指導の充実…「授業の充実」 ・進路指導の充実…「キャリア教育の推進」 ・生徒指導の充実…「基本の浸透」 (3) 面接指導の充実

令和元年度の努力点に対する各部・各学年の具体的取組

	本年度の努力点（1）	本年度の努力点（2）	本年度の努力点（3）
目 標	「質素堅実」の具現化	「大高教育力」の充実 ・学習指導の充実 ・進路指導の充実 ・生徒指導の充実	面接指導の充実
各 部 ・ 各 学 年 の 取 組	【教務部】	【教務部】	【教務部】 面接時間を確保するため、行事や放課後の会議の精選、時間割の工夫を行う。
	【学習指導部】 各教科と連携し基礎学力を高めるとともに、SS探究Ⅰ、総合的な学習の時間等での探究活動を通して主体性・協働性・表現力を育む。学習全般を通して、確かな信念や判断力を有する生徒を育成する。	【学習指導部】 学習環境を整備し、授業見学や授業研究を通して指導の内容・方法の改善に努め、学力の充実に努める。また、課題研究に必要な図書の実践を促す。	【学習指導部】 学習不適応の生徒に対して各部・学年と連携しながら面談を実施することで、学校生活に前向きに取り組む姿勢を育む。
	【特別活動部】 各種行事・活動において、慣例化している内容の精選と簡素化を図ると共に、学校生活に秩序と変化を与え、活力ある学校生活の充実と発展に資する。	【特別活動部】 各種行事・活動を通して望ましい人間関係を構築し、知・徳・体の調和的発達の達成と、自主的・実践的な態度を育て、多面に渡りその能力を生かす力（人間力）を養う。	【特別活動部】 部活動等においても顧問による面談の機会を設け、担任・顧問・家庭間の連携を図り生徒個々の変化に対応できるように努める。
	【生徒指導部】 あらゆる機会（SHR・授業・学校行事等）を通して規範意識や安全意識を高め、自ら考え責任を持って行動できる精神を養い、「問題行動ゼロ」「交通事故ゼロ」を目指す。	【生徒指導部】 基本的な生活習慣を確立し、生活安全・交通安全に配慮しながら3か年皆勤や単年度皆勤を目指し、落ち着いた学業に向かう環境作りに努める。	【生徒指導部】 年2回のアンケート（いじめや悩み等）実施や面接指導を充実させるなど、一人一人の生徒の実態把握に努める。
	【健康指導部】 清掃活動の充実を図り、心を磨き人間力を高める。生徒が積極的に清掃活動を行えるよう、教員自ら率先して清掃に励むと共に、生徒への指示や役割分担を的確に行う。	【健康指導部】 基本的な生活習慣を確立させることを目的とし、遅刻カードを活用し遅刻の減少を実現する。保健委員からクラスへ発信させ、生徒自身に遅刻しない意識を涵養する。	【健康指導部】 保健室利用や欠席の多い生徒（1ヶ月単位）の情報共有し、生徒の充実した学校生活を支えていく。担任・副担任への情報提供はもとより健康指導部でもケアが必要な生徒の状況を把握し、指導に生かす。
	【進路指導部】 進路関連行事への参加を通して、生徒の「気づき」を促すと共に「素地を磨く」ことの重要性を認識させる。	【進路指導部】 各部・各学年と連携を図り、学部学科説明会や講演会を実施する。また、職場見学会の実施により生徒の職業観育成に資する。その他生徒のキャリア形成に繋がる諸行事を通して、進路意識と学習意欲の向上に努める。	【進路指導部】 相談や情報提供等を行う「チューター制度」を導入して、担任以外の教員が生徒をサポートする体制を整える。
	【SSH部】 課題研究の実践や ICT 機器活用等を通して、社会的現象や自然事象から自ら意欲的に課題を発見及び解決に向かう態度・協働性・表現力を有する生徒を育成する。	【SSH部】 社会問題啓発プログラムの開発をはじめとする「志と科学的リテラシーを育む文理融合型課題研究の開発」について実施計画書に基づく適切な実施に努める。	【SSH部】 課題研究のテーマ設定・計画・実行・発表について SSH 部だけでなく学校全体で適切な助言・指導を行えるよう工夫する。
	【渉外部】 家庭・学校・地域社会との緊密な連携によって、生徒の教育環境の充実に寄与する。同窓会総会や十年会を通して会員相互の親睦、母校との連携を図る。	【渉外部】 各種学校行事において、家庭や地域社会との関わり的重要性を理解させる。職場見学会を通して、職業観や社会人としての心構えや態度を養う。また、卒業生の活躍を見て、進路意識の高揚を図る。	【渉外部】 保護者懇談を通して、保護者、教員、生徒の相互理解を図り、学校生活態度の向上、進路実現に資する。
	【1学年】 挨拶が元気よくできるようにする。学習環境を整えるために、清掃活動に全力で取り組ませる。	【1学年】 学習習慣を確立させ、基礎学力の定着を図る。キャリア教育を充実させ、適切な文理選択ができるようにする。基本的な生活習慣を確立するために、規律ある生活を送らせる。	【1学年】 生徒の状況を良く把握し、担任と副担任で協力して面談を行う。保護者との連絡を密にし、家庭と協力して指導する態勢を整える。
	【2学年】 学習環境を整える。特に清掃にしっかり取り組ませる。	【2学年】 授業中心の学習に取り組み、基礎学力の定着を図るとともに、積極的に考える力や表現する力を身につけるようにする。学部学科研究を進め、適切な進路選択をさせる。	【2学年】 担任と副担任で面談を行い、生徒理解に努めるとともに、保護者との情報共有に努める。
【3学年】 最上級生としての自覚を促し、部活動・学校行事等に積極的に参加させる。受験に向け、積極的に学習に取り組ませることにより、内面も鍛える。	【3学年】 考えさせる授業を展開し、授業に積極的に取り組ませる。自ら大学や受験について調べる態度を養い、適切な進路選択をさせる。あいさつ、清掃を徹底させる。	【3学年】 具体的なアドバイスをし、適切な進路選択ができるようにする。また、適切な時期に面談を行い、生徒理解に努める。	